



ほほえみ 第94号

猛暑が過ぎたら、台風が来たり、自然界の変動がこんなに大きかったかと思わせる一年となっています。地球温暖化とは言いますが、中生代のように、もっと温暖な時代も地球の歴史の中にはあったと思うので、その当時は、凄まじい台風が年中来るような時代だったのかとも想像されます。ようやく、過ごしやすい秋になるので、穏やかな日が続くといいですね。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

アドバンス・ケア・プランニングというカタカナ言葉を最近よく見かけるようになりました。アドバンスというのは、「高度な」の意味ではなくて、「前もって」という意味です。厚生労働省で、「人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会」というのをやっていて、その一環で出てきている言葉です。

人生の最終段階における医療では、日常的に本人の意向は確認できないが、どのような医療を行うか時々刻々と決定しなければならない事態が生じます。現場の判断に委ねる形も適切でないために、厚生労働省であり方を検討していたのですが、結局、具体的な内容に関する指針は出されず、プロセスだけが提示されたのでした。つまり、本人の意向を汲めれば本人の意向に沿い、そうでない場合は、家族の意向、それも無い場合には、医療者が協議して判断するというところで、議論のスタート地点に戻ってしまった感があります。

さて、ACPですが、その定義は「今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス」となっていて、事前の知識なしにこの定義を読むと、一般の診療とどこが違うのかわかりません。すなわち、あまり良い定義ではありません。ということで、ACPを普及しようという政策が進められている反面、何を行いたいのか明確でないため、頓挫しそうな気がします。ここからは、ACPを私なりに考察し、議論したいと思います。

まず、ACPの下敷きとなる議論として、アドバンス・ディレクティブ(AD)というものがあるので解説します。日本語では事前指示書と訳されており、自分自身の意思決定ができない事態に備えて、本人の意向を前もって記しておくものです。リビング・ウェルという言葉もあり、よく似た概念で、大体、この辺りは海外から輸入したものです。ADに関しては、その有効性を検証した論文があり、前もってADを作成しても、後から起こったシナリオに適用できないことが示されています。ADがあっても、第三者がそれを見て、本人の意向を汲むことは困難だと言うことです。そのため、患者・医療者が、事前に協議することは一定の意味があるだろうということで、ACPを模索するようになったという経緯ですね。

思うに、ACPIには、幾つか重要な概念化が欠けています一つは、未来的な事柄を扱うために漠然となりがちな、ACPの及ぶ境界を設定することです。最善の医療を提供する…なんて、言葉では簡単に言えますが、いかなる場合でも、遵守すべき最小限の境界と、最善の医療といっても、ここまではやり過ぎという最大限の境界があって、その境界を決めることが必要なのです。この部分は、ACPを適用する、その社会でのコンセンサスが求められます。日本でのコンセンサスですね。

もう一つは、ACPが個別的なのか普遍的なのかという、ACPの本質に関わる部分です。仮に、個別だと言うなら、本人以外に妥当性を検証することは極めて困難ということの意味します。結局、ACPが成り立つには、普遍的なもの、普遍的要素に限定して成り立つだろうということで、逆に、この場合、本人からみても、第三者からみても妥当するということです。個別的なことは、明らかに当人の意思が確認でき、実行可能といった場合に限定されるかと思っています。以上を押さえれば、何とかACPができそうな気がします。その前に、日本の社会に受け入れられないまま、このムーブメントが終息するということもあり得ますね。



パソコンの修理

今年買ったノート型のパソコンがあるのですが、確か4月末か5月始めに納品になって、すでに2回壊れて修理に出しています。1回修理に出して、返ってきたかと思った矢先に一ヶ月あまりでまた壊れていますが、いくらなんでも、買って半年もしない間に2回壊れるとは(共にキーボード不調)。ニュースレターを作成するパソコンでもあるので、困っています。

大学病院時代に、購入直後に盗難にあったことはあるのですが(大学専門にした窃盗犯がいるらしいです)、こんなに壊れるパソコンは初めてです。いろいろな作業が中断するので、影響大なのですが、大手販売店やメーカー対応とも、極めて悪いのでがっかりしています。



2in1でサイズもコンパクトなのですが、壊れますね

秋田新幹線と併走

先日、肩こりが酷くなって日帰り温泉に行こうと思い、国道46号線を車で走っていたときに、秋田新幹線と併走しました。以前に、新幹線とは何度かすれ違ったことはあったのですが、写真を撮れるくらいの間、併走したのは初めてでした。

こんなに近くで、新幹線が走行しているのを見られる場所は少ないですね。子供が小さいときは、東北新幹線と秋田新幹線の連結作業などを見るために、盛岡駅に行き入場券を買って見ていたことを思い出しました。

私は、どうもこの時期に体調を崩しやすいのですが、皆様も夏ばての後ですので、ご自愛下さい。



MEMO

9月のがん化学療法科の予定

9月4日	診療応援(平出先生)
9月11日	診療応援(工藤先生)
9月17日	敬老の日
9月18日	診療応援(平出先生)
9月21日	新渡戸稲造記念メディカルカフェ
9月24日	振替休日
9月25日	診療応援(工藤先生)



連休もありますし、行楽シーズンですね。